

「子どもと大人の矯正治療」



歯科医師(矯正) 布田花子

一生自分の歯で噛むために!

当院で矯正治療を受けている患者さんは、子どもから大人まで幅広い年齢層の方々がいます。いずれの患者さんも目的は同じで、歯ならびを整えて一生自分の歯でしっかり噛めるようにするためです。歯並びが悪い人の中には、歯がでこぼこに生えているだけでなく、奥歯や前歯がきちんとかみ合っていないことがあります。その場合、食べ物を噛み砕く効率がよくありません。また、かみ合わせが不安定で全体で均等に力を負担できないと特定の歯だけに負担が大きくなり、その歯だけ寿命が短くなってしまうこともあります。さらに、むし歯や歯周病の予防に重要である歯みがきの際、でこぼこな状態では歯ブラシがあたりにくいため十分な歯磨きが難しく、むし歯や

生涯を通して健康な口腔内環境を維持するために、OPひるま歯科 矯正歯科では『Under 20: 20歳までの口腔内を徹底して管理し、むし歯・歯周病のリスクを低下させ維持する事が将来的な口腔内の健康に有利に働く』ことに注目し、取り組みを進めています。

歯周病が進行してしまいうケースもあります。日本歯科医師会が行っている「8020運動」をご存知でしょうか。80歳で20本の歯を残そうと

いう運動です。実際に80歳で20本の歯が残っている方の歯並びを調べた結果として、比較的良いかみ合わせ、良い歯並びの方がほとんどであったという報告があります。歯並びが悪いと、必然的にむし歯や歯周病にかかりやすくなり、歯を失うことにつながっていくのです。逆に早めの時期に矯正治療で歯並びとかみ合わせを改善することで、きちんと噛めるようになり、噛むことで唾液も分泌され、歯磨きもしやすい状態を長く維持できるようになります。

子どもは成長に合わせた治療を

では、子どもの時期に行う矯正治療と大人の矯正治療の違いはというと、大きな違いとしては成長のある時期の治療が成長が終了してからの治療かということになります。「成長」とひと言でいっても、歯ならびに関わる部分は頭部、顔面部、歯槽部等パーツごとに細かく分かれ、そ

れぞれの部位により成長が旺盛に進む時期、成長が終了する時期等も異なります。代表的なところでは、上の歯が生える土台となる上顎骨と下顎骨も成長時期は異なります。そのため成長期の矯正治療では、歯ならびだけを見て治療方針を決めているのではなく、成長発育段階が今どこにあり、今後どのような成長変化をするかの予測も含めて、一人一人の治療方針を立案していきます。顎の骨がまだ発育段階にある子供の場合、矯正治療でその成長発育を促したり、抑制したりしながら顎の問題を解決できる場合もあり、大人に比べて治療期間が短縮できるケースもあります。

健康な歯と歯周組織であれば何歳でも矯正治療は可能

一方、大人になってからの矯正治療に年齢制限等あるかといえば、健康な歯と歯周組織であれば何歳でも治療は可能です。ただし悪い歯並びを放置している期間が長いほど、歯磨きのしにくさによりむし歯や歯周病が進行している可能性や、かみ合わせの不均衡が顕著になっていることも考えられ、治療の難易度も高くなる傾向にあります。歯並びは見た目だけではなく、きちんと機能できる状態(安定した咬合)、清掃しやすい状態になることが、歯や歯周組織も含めお口の中全体、ひいては身体全体の健康を左右する要因になるのです。

ヒルマヤスアキのホッとひと息

新聞・テレビも警鐘を鳴らす「間違いだらけの矯正歯科選び」

今年3月、日刊ゲンダイに「抜かずに」でトラブル急増「子供の矯正」正しい歯科医選び」という特集記事が掲載され、4月にはNHK朝の情報番組「あさイチ」で「子どもの歯科矯正」医師会に相談の56%が不適切治療! 研修・経験乏しい医師増加」と特集された番組が放映されました。内容は、経験の少ない歯科医の不十分な検査・診断により安易で不正確な矯正歯科治療が行われる症例が増えており、治療後に噛めない状態が残ったり患者さんの希望に沿わない治療が行われ、治療結果に満足されないトラブルが後を絶たないというものでした。

このような事例は当院でも枚挙にいとまがなく、警鐘を鳴らすために2000年に開設した当院ホームページの質問コーナーで患者さんからの矯正治療トラブルに答えています。近年きれいな歯並びを希望する方が増えたことに比例して問題を抱える症例もより多くなっていると感じています。主な原因は、歯科医院が多くなりすぎたことで矯正治療経験のない歯科医師が患者受けのよい非抜歯による矯正治療を過剰に宣伝している、患者獲得のため治療費を低価格化したことによる重要な検査・診断・矯正治療トレーニングを省くコスト削減の影響などが大きいと考えます。矯正治療を受ける際にこのような不幸な事態にならないためにもっとも大切なのは、矯正歯科医院選びを慎重に行うことです。冒頭の記事に掲載されていた医院選びのポイントを次に記します。

- 頭部X線規格写真(セファロ)を撮影している
- X線写真や口腔内模型を分析し治療計画を立てている
- 治療計画や費用を十分な時間をかけて説明している

セファロは世界中の矯正歯科医が必ず撮影する横顔の骨格を規格化して撮影するX線写真です。X線写真や口腔内模型などの資料で治療前後の変化を正確に分析して治療計画に反映し適切な治療方針を立てているかが大切です。

また、矯正治療は長期にわたり、費用も高額です。事前にこれらの説明を受けて納得してから治療を始める必要があります。治療計画、費用を説明してもらい、文書をもって保存し、治療開始後、計画の確認や質問ができる医院を選びましょう。

当然ですが当院はこれらの要件をすべて満たすだけでなく、さらに様々な資料を分析して説明しています。また、むし歯と歯周病の予防・治療についてもきちんとした分析をして説明をしていますのでご安心下さい。